

PRESS RELEASE

2020年9月3日
フューチャー株式会社
(東証一部:証券コード 4722)

認知症症状の新たな予測 AI 群の研究・開発で 日本テクトシステムズと資本業務提携

フューチャー株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役会長兼社長 グループ CEO:金丸恭文、以下フューチャー)は、すべての高齢者が穏やかに生活できる社会の実現に向けて、特に世界的課題である認知症にフォーカスし、各個人の認知症症状の将来予測を行う AI の研究・開発で日本テクトシステムズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:増岡巖 以下、日本テクト)と資本業務提携しました。

超高齢化社会を迎えた日本では、65歳以上の高齢者の割合(高齢者率)は28.4%に達しており、2025年には30.0%を超えると予想されています。また、これに伴い、2025年には認知症高齢者が730万人を超えると推計され*、認知症高齢者の生活の質の低下、介護の負担の増大、社会保障費の拡大等にどのように対応すべきかが喫緊の課題とされています。また、認知症には様々なタイプがあり、治療可能な認知症かどうかを事前に正しく判定する方法や病型の分類には大きなニーズがあると考えられています。

認知症の精密な診断には、神経心理検査(認知機能等の評価)、MRI 画像検査(脳の萎縮等の評価)等が必要です。日本テクトは、ヘルスケアアプリ「認知機能みまもり AI【ONSEI】」、神経心理検査実施支援システム「SHINRI シリーズ」などの製品群を有し、認知症に関連した多くの知見を蓄積しています。また、フューチャーは、小売業や製造業、公共事業をはじめ多種多様なお客様の IT 戦略パートナーとして、AI 技術をいち早く実際のビジネスに活用するプロジェクトを推進しており、これまでに機械学習・深層学習技術の知見と実装力を培ってきました。

今回の研究では、日本テクトの「SHINRI シリーズ」「MRI-TAISEKI」を中核として得られるデータを活用し、フューチャーの強みであるAI技術の目利き力・社会実装力と組み合わせ、治療可能な認知症の判別・病型分類、その他、認知症に関わる各種の予測に関する AI 技術の開発を行います。

両社は今後、認知症症状の新たな予測 AI アルゴリズムの開発を共同で進め、高齢者や認知症医療に携わる医師に有益な情報を提供する各種新サービスの展開や、高齢者および認知症領域のプラットフォーム構築などに取り組んでまいります。

また、フューチャーは、ヘルスケア分野においてもビジネスや研究・開発などへの AI 技術の幅広い活用を推進し、世界的な課題の解決に向けて貢献していきます。

* 平成 29 年版高齢社会白書、内閣府

■日本テクトシステムズ株式会社について

日本テクトシステムズ株式会社は、「For Peaceful Aging」をコーポレートメッセージに掲げ、認知症領域での研究とIT技術を融合し、高齢者やその家族、認知症医療に携わる医師に向けて、様々なシステムを提供しています。

2019年に医療機器製造業、第二種医療機器製造販売業の認可を取得し、神経心理検査実施支援システムやMRI画像ビューワ等の販売を通じて認知症医療へ貢献しています。

近年では、蓄積した認知症知見と音声解析技術などを活用した製品「認知機能みまもり AI【ONSEI】」やその他サービスを自治体、生命保険会社、住宅メーカー、金融機関などに提供し、非医療のヘルスケア領域でニーズが広がる認知機能チェック体制の構築にも貢献しています。

代表者： 代表取締役社長 増岡 巖

設立： 2015年5月25日

URL： <https://www.nippontect.co.jp/>

■フューチャー株式会社 概要

代表者： 代表取締役会長兼社長 グループ CEO 金丸 恭文

設立： 1989年11月28日

URL： <https://www.future.co.jp>

【本件に関する報道機関からのお問合せ先】

フューチャー株式会社 広報担当：中村、高橋

TEL : 03-5740-5723 E-mail : f_pressroom@future.co.jp